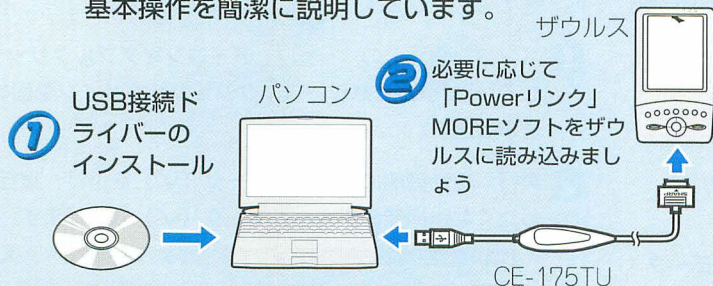
はじめにお読みください。 CE-PCK1 パソコン連携キット かんたん操作ガイド

このガイドでは、CE-PCK1を使ってザウルスとパソコン間でデータを送受信するための基本操作を簡潔に説明しています。

③ パソコン連携ソフトのインストール
④ ザウルスデータのバックアップ
⑤ シンクロナイズ
⑥ 送信箱/受信箱を使ったデータの送受信

準備するもの

Windows 98、Windows Meが動作するパソコン ※1

- CPU：Pentium 150MHz相当以上（Pentium 300MHz相当以上を推奨）
- メモリー：32MB以上（64MB以上を推奨）
- ハードディスクに40MB以上の空き容量
- USBポート
- CD-ROMドライブ

※1 Windows Meは、USB接続ケーブル、クレードル/ケーブル通信での通信に限り動作確認済みです。
Windows 2000 Professional日本語版でも動作確認済みです。

ソフトウェア ※2

- Microsoft Outlook 2000または98、97
- Microsoft Internet Explorer 4.0/5/5.5 または Netscape Communicator 4.0/4.5/4.6/4.7
- Microsoft Access 2000または97
- Microsoft Outlook Express 4/5/5.5 または Eudora 4.3-J ※3

※2 すべての機能を使う場合に必要です。
※3 Outlook以外のメールソフトを使用する場合に必要です。

- **詳しくはCE-PCK1の取扱説明書やヘルプをご覧ください。**

このガイドでは、USB 接続ケーブル CE-175TU を使ってザウルス MI-E1 とパソコン間でデータの送受信を行う場合を中心に説明しています。MI-E1 以外のザウルスや接続（通信）方法が異なる場合は、操作も違ってきます。詳しくは CE-PCK1 の取扱説明書をお読みください。

① USB接続ドライバーをインストールしましょう

USB 接続ケーブルを使ってザウルスとパソコン間で通信を行うには、パソコンに USB 接続ドライバーをインストールする必要があります。

1 パソコンの取扱説明書を参照して、パソコンの USB コネクターが使用可能な状態であることを確認してください。

2 パソコンの電源を入れ、Windows を起動します。

- Windows 2000 Professional の場合は、Administrator 権限を持つユーザー（通常、システム管理者と呼ばれます）がログオンしてインストール操作をする必要があります。

3 付属のパソコン連携ソフト CD-ROM をドライブにセットします。自動的にパソコン連携ソフトセットアップ画面が表示されます。

クリックして、表示される内容をお読みください。読み終わったらメモ帳を終了します。

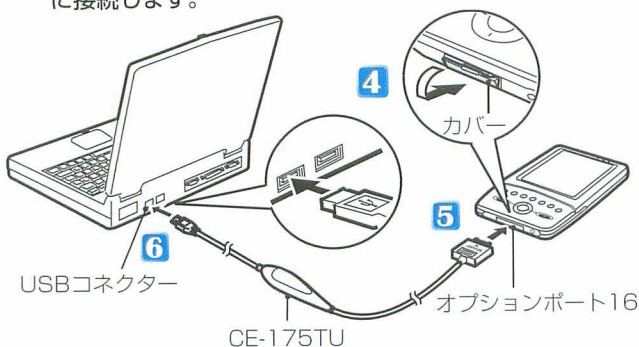
- パソコン連携ソフトセットアップ画面が表示されないときは…

➡ 6ページ「パソコン連携ソフトセットアップ画面が表示されないときは」参照

4 ザウルスの電源を切り、オプションポート 16 のカバーを開いて収納します。

5 CE-175TU のコネクターをザウルスのオプションポート 16 に挿入します。

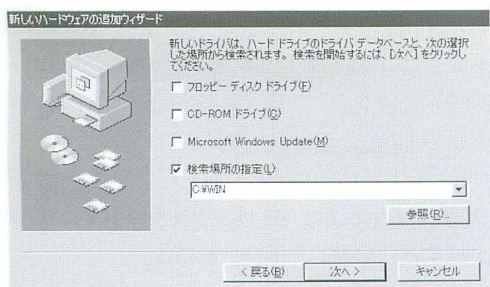
00L1 ① PRINTED IN CHINA

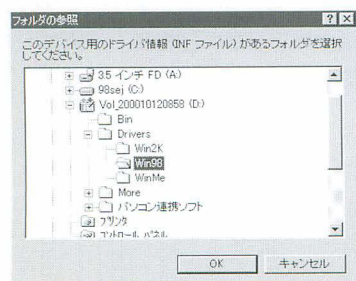
6 CE-175TUのコネクターをパソコンのUSBコネクターに接続します。

7 ドライバーのインストールウィザードが起動します。以下、使用しているOSに合わせて操作します。

- 操作の詳細およびWindows 2000 Professionalの場合は、CE-PCK1の取扱説明書（15～23ページ）をご覧ください。

Windows 98の場合

❶「新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアを探しています。」のメッセージを一時表示後、「次の新しいドライバを検索しています：」のメッセージ画面が表示されます。

❷［次へ>］ボタンをクリックして表示される画面で「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」を選択後、［次へ>］ボタンをクリックします。

- 上の画面のように「検索場所の指定」のチェックボックスをクリックしてチェックを入れます。他のチェックボックスをクリックしてチェックを消します。

❸［参照］ボタンをクリックして、フォルダの参照画面でフォルダを指定します。

- CD-ROMドライブが「D」の場合、上の画面のように「D:¥Drivers¥Win98」を指定します。「D:」の部分は、お使いのパソコンに合わせて変更してください。

❹［OK］ボタンをクリックして表示される画面で、ディレクトリを確認して［次へ>］ボタンをクリックします。

❺「CE-175TU Ver 1.x　新しいハードウェアデバイスに必要なソフトウェアがインストールされました。」のメッセージ画面が表示されるまで、順次［次へ>］ボタンをクリックします。途中でドライバがインストールされます。

❻［完了］ボタンをクリックします。

Windows Meの場合

❶「新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアを探しています。」のメッセージを一時表示後、「新しいハードウェアが見つかりました：」メッセージ画面が表示されます。

❷「適切なドライバを自動的に検索する（推奨）」を選択して、［次へ>］ボタンをクリックします。

- 「ほかのドライバの選択」画面が表示されたときは、ドライバーを選択します。
  CD-ROMドライブが「D」の場合、「場所」に「D:¥DRIVERS¥WINME¥SER9PL.INF」が表示されている行の「CE-175TU Ver1.x」をクリックして選択します。「D」の部分は、お使いのパソコンに合わせて変更してください。

❸［OK］ボタンをクリックします。
「CE-175TU Ver 1.x　新しいハードウェアデバイスに必要な選択したソフトウェアがインストールされました。」のメッセージ画面で、［完了］ボタンをクリックします。

- コンピュータの状態によっては、本ガイドに記載の画面が表示されない場合や、自動的にフォルダが選択され、インストールが進行する場合があります。

2 必要に応じて「Powerリンク」MOREソフトをザウルスに読み込みましょう

MI-P1/MI-P2シリーズ、MI-J1、MI-EX1、MI-310では、「Powerリンク」MOREソフトをザウルスに読み込む必要があります。読み込み方法など詳しくはCE-PCK1の取扱説明書（25ページ）をお読みください。

ご注意

USB接続ケーブルを使ってザウルスとパソコンとの間で通信を行う場合は、以下のことに注意してください。

- 通信の途中でザウルスの電池が消耗すると、データが消失する場合があります。**通信を行うときは、必ずザウルスにACアダプターを接続するか、新しい乾電池と交換してください。**
- 通信中はCE-175TUのコネクターを抜かないでください。データが消失したり、故障の原因となることがあります。

③ パソコン連携ソフトをインストールしましょう

パソコンとザウルス間でデータの送受信を行うには、以下のソフトウェアのインストールが必要です。

- パソコン連携ソフト
  次に示す表の「以下のソフトがパソコンにインストールされていると」欄のソフトがパソコンにインストールされていると、付属のCD-ROMからパソコン連携ソフトの機能がインストールできます。

【インストールに必要なソフトウェア】

以下のソフトがパソコンにインストールされていると	CD-ROMから以下の機能やソフトがインストールされます
Microsoft Outlook 2000またはOutlook 98、Outlook 97	ザウルスパワーコネクションのシンクロナイズ機能（ステップ④参照）
Microsoft Internet Explorer 4.0/5 /5.5またはNetscape Communicator 4.0/4.5/4.6/4.7	ザウルスパワーコネクションのホームページクリップユーティリティー機能

※ ザウルスパワーコネクションのデータ転送機能やバックアップ／リストア機能は、標準でインストールされます。

※ CD-ROMからインストールされるソフトウェアおよび機能について詳しくは、CE-PCK1取扱説明書の30ページをご覧ください。

1 付属のCD-ROMをドライブにセットしてパソコン連携ソフトセットアップ画面を表示します。

ステップ①の3を参照ください。

2 ［ザウルスパワーコネクションをパソコンにインストール］ボタンをクリックします。

- インストールが始まります。画面の表示内容に従って操作してください。
- インストールが正常に終了すると「3.インストール終了」画面が表示されます。

「3.インストール終了」画面が表示されないときは…

➡ 6ページ「インストールが正常に終了しなかったときは」参照

3 メッセージを確認後 Enter キーを押してください。

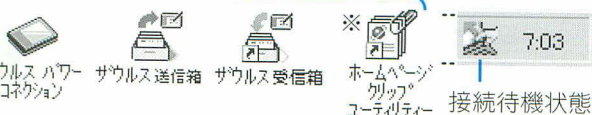
Windowsが再起動します。

4 再起動後、以下に示すようにパソコンの画面（デスクトップ）に4つのアイコン、画面右下のタスクバーにアイコンが表示されていることを確認してください。

デスクトップ

タスクバー

7:03

接続待機状態

※ ホームページクリップユーティリティーがインストールされなかった場合は、表示されません。

④ ザウルスのデータをバックアップしましょう

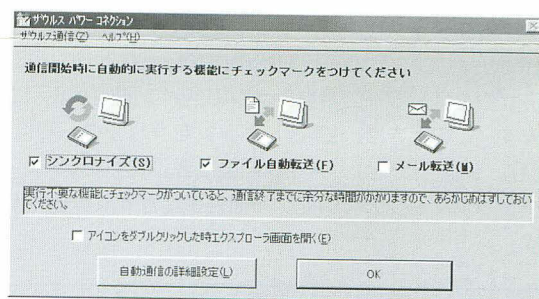
これ以降の説明でパソコンとザウルス間のシンクロナイズやデータの送受信を行う前に、念のためザウルス本体内のデータのバックアップを行います。

- **ザウルスに登録されているデータの件数やMOREソフトの数、サイズによっては、バックアップの完了までに時間がかかることがあります。**

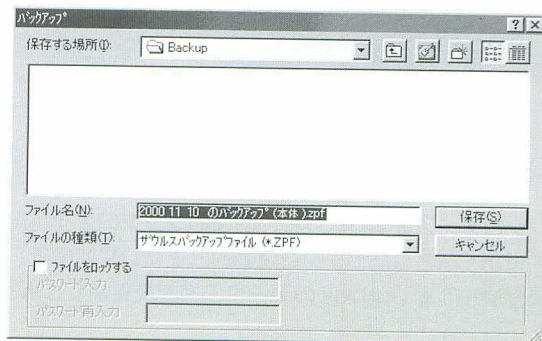
メモ

- 別売のコンパクトフラッシュメモリーカードを用意して、ザウルス本体メモリーの内容をメモリーカードにバックアップすると、短時間でバックアップできます。使用方法ついてはザウルスの取扱説明書の「バックアップ／リストアとカード複製」の章を参照ください。

1 パソコン画面上の アイコンをダブルクリックします。

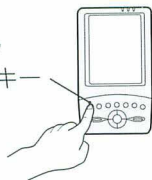
「ザウルスパワーコネクション」のメイン画面が表示されます。

メイン画面

- OK ボタンをクリックすると、メイン画面が閉じますが、ここでは、OK ボタンをクリックしないでください。

2 「ザウルス通信」メニューの「バックアップ」を選択します。

3 [保存]をクリックします。

- [保存] をクリックする前にバックアップ先のフォルダやファイル名前の指定をすることもできます。

4 MI-E1 では、ザウルスのPC リンクスタートキーを約2 秒以上押します。

PCリンクスタートキー

- MI-C1、MI-P10 では、ザウルスのインデックス画面の「PC リンク」アイコンにタッチし、[すぐに接続] アイコンにタッチします。
- MI-P1/MI-P2 シリーズ、MI-J1、MI-EX1、MI-310 では、「Power リンク」MORE ソフトを起動し、[実行] にタッチします。

「バックアップ中！」と表示され、バックアップが開始されます。

- **「バックアップ中！」が表示されなかったときは…**

➡ 6 ページ「バックアップについて」参照

5 バックアップが終了すると、「バックアップが終了しました」のメッセージが表示されますので、OK ボタンをクリックします。

メモ

- 手順 **1** で「ザウルスパワーコネクション」アイコンをダブルクリックせずに、ザウルス側で PC リンク（Power リンク）の実行開始操作を行ったとき、初回のみザウルスパワーコネクションのメイン画面が表示されます（このときは、[実行] ボタンをクリックしてください）。2 回目以降は、メイン画面は表示されないで、チェックマークの付いている通信機能がすぐに動作します。

シンクロナイズ機能について

ザウルスとパソコン上のOutlookの以下の各データの更新日時をチェックして自動的に最新のものに更新する機能です。

ザウルス側の機能	シンクロナイズ	Outlook側の機能
通常スケジュール 期間スケジュール	←→	予定表
アクションリスト	←→	仕事
アドレス帳	←→	連絡先

シンクロナイズをするたびに、前回のシンクロナイズ後に追加・修正・削除したデータを自動的に更新しますので、効率良くザウルスと Outlook のデータの共有が実現できます。

【ビジネスシーンの例】

オフィスのデスクではパソコン上のOutlookを使って情報を管理し、一方外出の際は、ザウルスを使って情報を管理する場合を考えます。パソコン側、ザウルス側でそれぞれの状況の中で情報を入力あるいは変更、修正の機会が発生します。

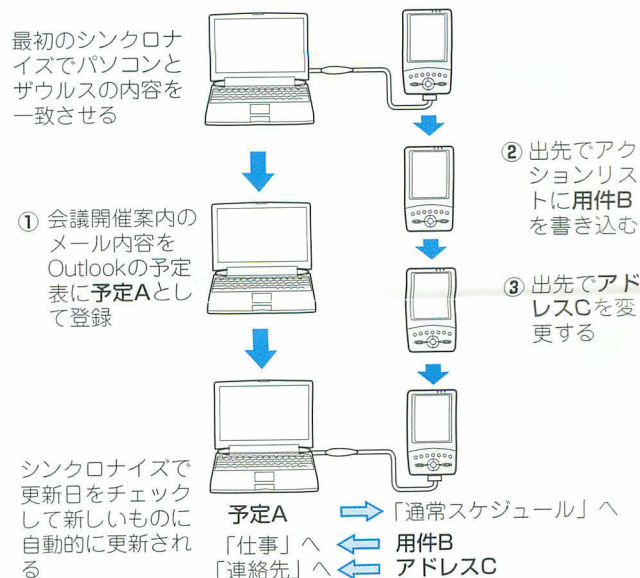
たとえば…

❶ 会議開催の案内がメールでパソコンに届いたので、その内容を Outlook の「予定表」に登録します。

❷ 外出先で新たな用件が発生したのでザウルスの「アクションリスト」に書き込みます。

❸ 外出先でお客様の所属の変更を知り、ザウルスの「アドレス帳」を変更します。

これらの登録や書き込み、変更をパソコンとザウルス間で一致させておく必要があります。シンクロナイズ機能を使うと漏れや記載ミスもなく、簡単に更新できます。

シンクロナイズの流れの例

シンクロナイズ実行の前に

- シンクロナイズを行う前には念のため、ザウルス側、パソコン側共にデータのバックアップを取っておいてください。（本ガイドの「④ ザウルスのデータをバックアップしよう」および Outlook のヘルプを参照してください。）
- ザウルスとパソコンの日付けと時刻を必ず合わせてからお使いください。

メモ

- ザウルスパワーコネクションが正常にインストールされた直後は、以降に記載の操作で自動的にシンクロナイズを行う状態に設定されています。

設定状態を変えたいときは…

➡ 6 ページ「自動通信する項目を変えるときは」参照

シンクロナイズの実行

1 **MI-E1 では、ザウルスの PC リンクスタートキーを約 2 秒以上押します。**

- 他のザウルスでは、PC リンク（Power リンク）の実行開始操作を行います。（④ の 4 参照）

  シンクロナイズが開始されます。**データ件数が多いときは、終了するまでに時間がかかります。**

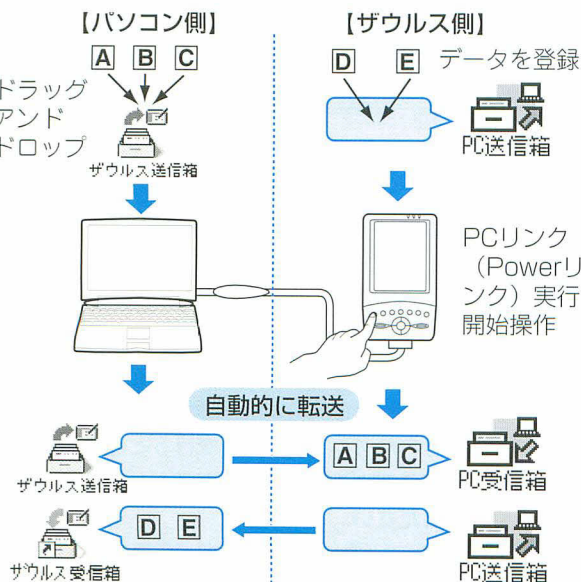
- 「シンクロナイズ情報初期化」の画面が表示されたときは、通常上から 3 番目のラジオボタンをクリックして選択し、OK ボタンをクリックします。
- 「エラーと警告」画面が表示されたときは、先へ進む(P) ボタンをクリックします。

2 **シンクロナイズが終了すると、「Enterprise Harmony '99」の画面が閉じます。**

- これでパソコン側、ザウルス側の双方にシンクロナイズ情報が作られ、次回からはこの情報をもとにしてスピーディーにシンクロナイズが行われます。

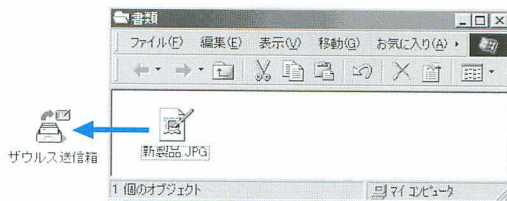
⑥ データを自動的に送受信しましょう

パソコン側のザウルス送信箱 / 受信箱およびザウルス側の PC 送信箱 /PC 受信箱を利用すると、ザウルス側で PC リンク（Power リンク）の実行開始操作で自動的にデータを送受信させることができます。

- MI-P1/MI-P2 シリーズ、MI-J1、MI-EX1、MI-310 では、PC 送信箱 /PC 受信箱の機能はありません。

- フォトメモリー（GIF/JPEG 形式の画像データ）などのデータが送受信できます。詳しくは、CE-PCK1 取扱説明書の 51 ページの説明を参照してください。

メモ

- ザウルスパワーコネクションが正常にインストールされた直後は、以降に記載の操作で各送信箱 / 受信箱の内容が自動的に転送するように設定されています。

1 **パソコンの各種ファイルをザウルス送信箱アイコンへドラッグアンドドロップします。**

- ザウルスへ送信できない種類のパソコン上のファイルをザウルス送信箱にドラッグすると、マウスカーソルが「⃠」で表示されます。
- 選択した複数のファイルの中に、ザウルスへ送信できないファイルが含まれていると、ドラッグアンドドロップすることはできません。

2 **ザウルス側でパソコンに受信したい各種ファイルを PC 送信箱へ登録します。**

たとえば、フォトメモリーの画像を PC 送信箱に登録するには、次のように操作します。

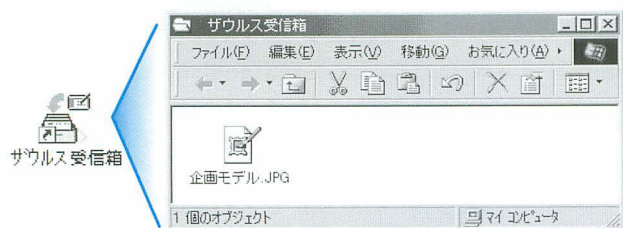
①フォトメモリーの画面を開き、パソコンに送りたい画像を表示します。

②画面左上の フォトメモリー ▼ にタッチし、メニュー内の「PC 送信箱に入れる」にタッチします。

3 **MI-E1 では、ザウルスの PC リンクスタートキーを約 2 秒以上押すと、自動的に転送されます。**

- 他のザウルスでは、PC リンク（Power リンク）の実行開始操作を行います。（④ の 4 参照）
- メイン画面の設定を変更していなければ、先にシンクロナイズが実行され、続いてファイル自動転送が実行されます。

4 **送受信終了後の確認画面で OK ボタンをクリックします。ザウルス側で通信が終了しないときは、「ザウルス通信」メニューの「接続終了」を選択します。**

5 ザウルス受信箱をダブルクリックすると、ザウルスから受信したファイルが表示されます。

必要に応じて、ザウルス受信箱から 他のフォルダにデータを移動します。

6 MI-E1では、ザウルスの［ホーム/インデックス］キーを押して「データ通信」画面を表示させ、PC受信箱 アイコンにタッチすることにより、ザウルス側で受信したデータを確認できます。

（ただし、データの種類によっては、「PC受信箱」に登録されないデータもあります。）
ザウルス側では、受信データに対応する機能を使って、受信したデータを確認することもできます。この例の場合、ザウルスで受信した画像データは、フォトメモリーに入ります。

以降は補足説明です。このガイドで記載の内容どおりに動作しなかったときなどに参照してください。

パソコン連携ソフトセットアップ画面が表示されないときは

以下の操作を行ってください。

① ［スタート］ボタンをクリックし、「ファイル名を指定して実行...」をクリックします。
② ［参照］ボタンをクリックして「ファイルの参照」ダイアログボックスから「(CD-ROM ドライブ名):(例 D:)」内の「Install.exe」を選択して［開く］ボタンをクリックします。
③ ［OK］ボタンをクリックします。

インストールが正常に終了しなかったときは

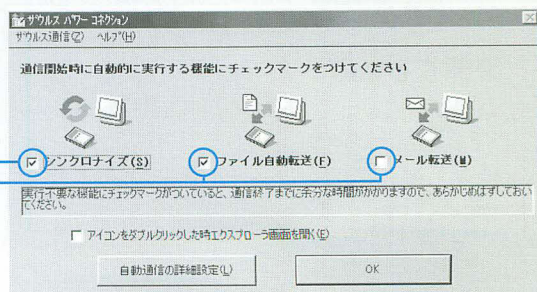
- ポートの検出に失敗した旨のメッセージが表示されているときは、CE-PCK1 の取扱説明書の「トラブルシューティング」（76 ページ）をお読みください。

バックアップについて

- 「バックアップ中！」が表示されないときは、パソコンとザウルスが正しく通信できる状態になっていないことを意味します。
  CE-PCK1 の取扱説明書の「トラブルシューティング」（76 ページ）をお読みください。
- バックアップしたデータをザウルスに戻す（リストア）必要が生じた場合は、ザウルスパワーコネクションのヘルプの「9.2 リストア」を参照してください。

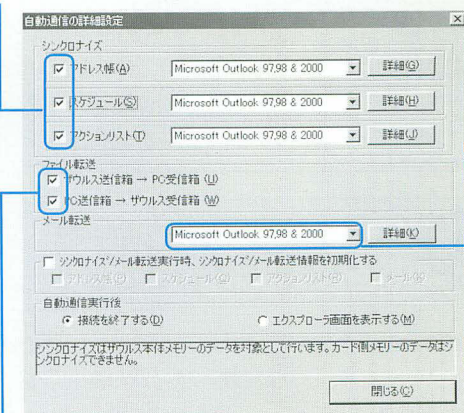
自動通信する項目を変えるときは

1 パソコン画面上の アイコンをダブルクリックして、「ザウルスパワーコネクション」のメイン画面を表示します。

2 実行したい機能にチェックマーク（✓）を付け、実行したくない機能のチェックマーク（✓）は外します。

メイン画面

ザウルス側のPCリンク（Powerリンク）の実行（**4** の **4** 参照）で、チェックマークの付いた機能が自動的に実行される

3 ［自動通信の詳細設定］ボタンをクリックします。

チェックマークの付いたものが自動的にシンクロナイズ

使用するメールソフトを選択
チェックマークの付いた送信箱の内容が自動的に受信箱に転送

4 自動転送する項目にチェックマーク（✓）を付け、［閉じる］ボタンをクリックします。

5 メイン画面で［OK］ボタンをクリックします。

正しく通信ができないときは

CE-PCK1 取扱説明書の 76 ページの「トラブルシューティング」を参照してください。